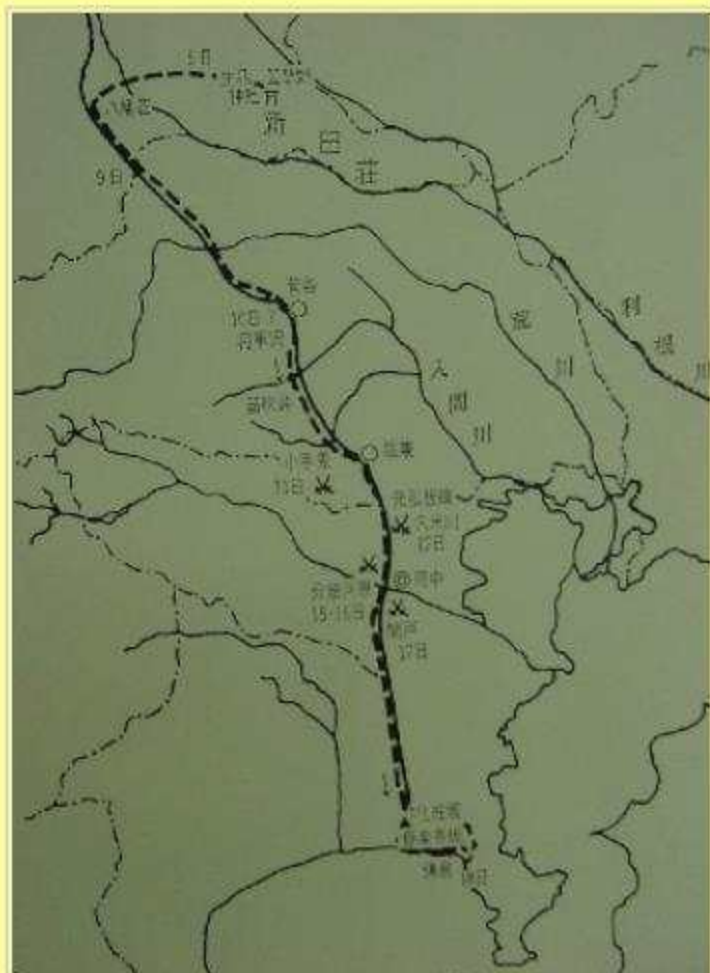


## 新田義貞鎌倉進軍図

【『新編埼玉県史』通史編2中世】



## 【資料解説】

京都で足利尊氏により六波羅探題が滅亡した5月8日、関東では上野国（こうずけのくに）新田荘を本拠とする新田義貞が挙兵しました。当初150騎であった軍勢は、数日中に20万騎となり、鎌倉街道を南下しました。幕府側は新田軍の正面から6万騎、背後からも攻めて挟み撃ちにする態勢を取りました。小手指（こてさし）・分倍河原（ぶばいがわら）での激戦を制した新田軍は鎌倉街道を通って鎌倉に押し寄せ、北条一族は東勝寺で自殺し、鎌倉幕府はここに滅亡しました。授業では、まず上の図中で新田軍の進行に関する記述を除いた状態の模造紙を黒板に貼っておきます。その後、次々と日付順に情報を貼付していき、どちらの軍に味方するかの判断を迫るロールプレイングの手法をとります。

## 熊谷虎一丸申状

【『新編埼玉県史』資料編5中世1】

## 二二二 熊谷虎一丸申状（熊谷家文書）

武蔵國小四郡直經孫子虎一丸中、親父平四郎直春討死寺、  
右、亡父直春今年五月十六日馳参り御方、致敷ケ度  
合戦之刻、同廿日奉歸于新田遠江又五郎經政御手、就致  
軍忠、於鎌倉靈□寺之下討死畢、此等子細者、大將軍御  
檢知之上、同所合戦之宣勢吉江三位律師慎實・齋藤卿房  
良俊等所見及也、早賜御證判爲浴恩賞、恐□言上如件、  
元弘三年八月 日

○證判ノ化相、新田義貞、ソラズ。  
（鎌倉）「鎌倉」  
（花押）「」

## 【資料解説】

熊谷直春は南下する新田義貞軍の岩松経政に属して16日より合戦に参加しました。最後は鎌倉の靈山寺（りょうせんじ）で討ち死にしています。勝利した新田義貞軍に属したとはいえ、合戦に参加した以上は生きて帰れるとは限りません。